

事業計画書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1. 自然普及事業

自然環境の保全とその適正な利用にかかる調査研究、人材育成、普及啓発、顕彰、森林利活用の推進などの事業を行う。

(1) 調査研究事業

阿寒川水系の水と森林に関する調査を引き続き実施する。これまで平成16年度より財団が管理する森林内を流れる阿寒川水系上流域における2河川（キネタンベツ川、チクショベツ川）で降雨量、流量、土砂濃度等の調査、水の量・質などの現状把握を行ってきたが、平成27年度より調査地点（チュウルイ川、マリモの生息地に注ぎ込む河川）を1箇所追加し、全3箇所での調査を行う。

事業費

1,900,000円（前年度予算 650,000円）

(2) 人材育成事業

1) 一歩園自然セミナー開催事業

阿寒をはじめとする北海道内の野生動植物や自然現象、自然との関わりなどをテーマとして釧路市など近隣市町村において自然セミナーを開催し、広く自然に対する意識を深める一助とする。

事業費

510,000円（前年度予算 440,000円）

2) 前田奨学金助成事業

高等学校以上の就学能力がありながら、経済的理由により進学が困難な者に対し、広く高等教育を通して自然環境の保全などに関する知識の習得を促進するため、前年度に引き続き、釧路市前田奨学金に対して助成を行う。

事業費

1, 000, 000円（前年度予算 1, 000, 000円）

（3）普及啓発事業

1）観察会開催事業

阿寒湖をはじめとする道東地域において児童、生徒を対象とした実体験型自然観察会（ネイチャーウォッチング、自然観察支援事業等）を実施し、自然環境の保全に深い理解と関心を持ち行動ができる人材の育成に寄与する。

事業費

765, 000円（前年度予算 785, 000円）

2）自然環境保全活動助成事業

北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する活動、調査研究、及びその普及啓発用報告書・成果品の刊行に対し助成を行うとともに、平成26年度の助成対象者により実施された事業についての報告会を（公財）秋山記念生命科学振興財団と合同で実施する。

事業費

6, 146, 000円（前年度予算 6, 186, 000円）

3）森林利活用推進事業

財団創立30周年を契機に、平成26年度より本格的に取り組みを開始した「森の学校」事業（※注1）では、アウトドア環境教育（※注2）に関し、釧路市教育委員会と共催で釧路市内の教員・教育大学生を対象とした研修事業を行うとともに、地元マリモ幼稚園・阿寒湖小学校・阿寒湖中学校教員を対象とした研修、地元親子向け森林体験、「一步園森の案内人」（ガイド）の養成等を実施し、森林のさらなる活用に努めた。

平成27年度については「教育の森」に重点を置き、アウトドア環境教育の指導者の養成事業を充実させるとともに、「健康・レクレーションの森」ではガイド養成事業及び、地元親子向け森林体験事業等の事業を行っていく。また、「研究の森」においても、大学等と具体的な実施に向けた検討を進める。

平成27年度は、「森の学校」事業として次の内容を計画する。

「教育の森」

- ・指導者養成

- 釧路市教育委員会への研修事業提供

- 地元幼小中学校教員への研修等

- ・教材の作成

「レクリエーション・健康の森」

- ・「一步園森の案内人」（ガイド）の養成

- ・地元親子向け森林体験事業（ファミリープログラム）の実施

「研究の森」

- ・「研究の森」事業の周知活動

また、事業を円滑に実施するために有識者から構成される推進委員会を開催し、実施結果の振り返り、次年度に向けた事業内容の検討等を行う。

（※注1）「森の学校」事業は、①「教育の森」（森林を教育的に活用する事業）、②「レクリエーション・健康の森」（森林をレクレーションや健康増進に活用する事業）、③「研究の森」（森林を大学や学術機関等の研究活動に活用する事業）の3事業で構成する事業である。

（※注2）アウトドア環境教育とは自然を学びの場として、従来の環境教育における自然科学に加え国語や算数、外国語等、多様な教科に自然を活用するものである。

事業費

4,500,000円（前年度予算 4,300,000円）

(4) 顕彰事業

北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する分野で活躍している団体、個人の優れた業績をたたえて前田一步園賞（200,000円／件×2件）を贈呈する。また、未来の自然環境を担う子供たち（小中学生）の自然環境の保全活動の取組みの励みとするため、一步園ジュニア自然環境賞（100,000円／件×2件）及び奨励賞（30,000円×5件）を贈呈する。

事業費	2,216,000円（前年度予算 2,220,000円）
-----	------------------------------

(5) 地域保全事業

1) 山火事予消防活動助成事業

阿寒湖畔地区の森林を火災から守るため、森林愛護思想の普及啓発と山火事予消防活動への支援、装備の充実に必要な用具などに対して助成を行う。

事業費	300,000円（前年度予算 300,000円）
-----	--------------------------

2) エコミュージアムセンター活動助成事業

阿寒湖畔地区におけるエコミュージアムセンターの活動に対して助成を行い、地域環境の保全に資する。

事業費	800,000円（前年度予算 800,000円）
-----	--------------------------

(6) 前田記念館管理事業

前田記念館および庭園の整備と保守管理を行う。

事業費	900,000円（前年度予算 900,000円）
-----	--------------------------

2. 森林保全事業

基本財産である山林は、全域が国立公園特別地域、水源かん養等保安林及び鳥獣保護区に指定されており、公益的機能の維持・向上が強く求められている。このため、森林を適正に保全し、風致景観や野生鳥獣生息環境などの、森林のもつ多面的な機能を維持・向上するため、平成27年度においても引き続き保全管理・人工林保育・天然生林改良等に取り組む。

(1) 保全管理事業

1) 巡視事業

山火事予防、入林者の危険防止、立木の盗伐防止及び自然保護思想の普及等を図るため、林道入口に監視人を配置するとともに、阿寒湖畔沿いにある道有地の自然環境の保全及び活用にかかる北海道の「公有財産管理委託業務」を受託し、当該土地及び立木の管理に関する業務を行う。

事業費

1,940,000円（前年度予算 2,450,000円）

2) エゾシカ食害対策事業

北海道の発表によると平成25年度のエゾシカによる農林業被害額は55億6,300万円（前年度比7億4,100万円減）と2年連続減少しているとはいえ依然深刻な状況が続いている。このような中であって、財団管理森林内においてはこれまで継続してきた給餌や囲いワナによる捕獲により樹皮喰等の被害を抑制することに成功している。北海道東部地域（釧路総合振興局等）において平成24年度以降個体数は減少していると言われているが、まだ高い水準（平成25年度は18万頭～41万頭の間「北海道統計“平成25年度エゾシカ個体指数等について”」より引用）にあり、財団管理森林も依然として全域において危険にさらされている状況である。

このため、平成27年度も、前年度同様「ビートパルプの給餌」、「囲いワナによる捕獲（3基）」、「樹皮防護ネット巻き」といった森林被害防止対策を継続して実施する。また、これらの対策とあわせて、エゾシカの生息状況や給

餌事業の効果などについて、大学や研究機関と連携して調査をすすめていく。

事業費 10,310,000円（前年度予算 11,860,000円）

3) 林道事業

既設の林道・作業道およびゲート等の関連設備の補修・改良を行う。

事業費 500,000円（前年度予算 1,000,000円）

4) 調査事業

人工林保育・天然生林改良の計画立案に必要な林況を把握するための調査を行う。平成26年度より新たに3年間の予定で計画した調査を平成27年度も継続し、これまで約45年間かけて植栽を行った人工林（1,181ha）についての資源量の調査を行い、今後の人工林保育の計画立案に必要な情報を収集する。また調査に必要な機材等を購入する。

事業費 2,280,000円（前年度予算 1,870,000円）

5) 危険木等処理

危険木・支障木等の処理（伐採・移動等）を行う。

事業費 500,000円（前年度予算 500,000円）

(2) 人工林保育事業

1) 植樹祭事業

植樹祭に係る苗木の購入、地植え、下刈を行う。

事業費 340,000円（前年度予算 400,000円）

2) 人工造林下刈事業

植栽木の健全な成長を促進させるため、平成23年の植栽地1haの下刈作業を行う。

事業費 60,000円(前年度予算 130,000円)

3) 除間伐・枝打事業

植栽木の健全な成長を促進させるため、人工林44haの間伐、32haの枝打ち、および伐採木(240m³)の搬出を行う。

事業費 10,900,000円(前年度予算 18,590,000円)

(3) 天然生林改良事業

1) 誘導造林事業

天然林の林分構成の充実を図るため、天然林の樹下10haにアカエゾマツの苗木(8,000本)を植栽する。また、平成28年度植栽予定地4ha地拵えを行う。

事業費 5,740,000円(前年度予算 5,120,000円)

2) 誘導造林下刈事業

植栽木の健全な成長を促進させるため、平成22年～26年の植栽地70haの下刈作業を行う。

事業費 2,390,000円(前年度予算 2,200,000円)

3) 天然生林間伐事業

天然生林において林分構成の充実を図るため、148haの間伐(主な対象は、過熟木、衰弱木、傷害木及びエゾシカによる食害木)、植栽予定地の更新伐(14ha)、および伐採木(1,620m³)の搬出ならびに既存作業道の補修及

び新規作業道の開設（既存補修、新規開設含め合計 5, 500m）を行う。

事業費

46, 870, 000円（前年度予算 38, 230, 000円）

（４）業務費

森林保全事業に係る「旅費交通費」、「諸謝金」、「雑費」及び、平成 27 年度においては、業務の効率化を目指し森林保全事業にて現在紙の地図を利用している地番情報の電子データ化を行う。

事業費

1, 640, 000円（前年度予算 1, 220, 000円）

3. 土地貸付事業

基本財産である土地（山林、宅地等）は、全域が国立公園特別地域、保安林、鳥獣保護区に重複して、あるいは単独で指定されている。さらに阿寒湖畔の土地は、国立公園集団施設地区に指定されているなど、公益性が強く求められている。

このため、土地の管理保全及び適正な利用を図り地域の振興に資するため、前年度に引き続き土地の貸付を行う。

（１）土地保守・管理事業

財団所有地における土地の保守と管理を目的に、主に空地等の緑化やベンチ及び看板などの設置を行う。

事業費

700, 000円（前年度予算 350, 000円）

（２）土地貸付

前年度に引き続き、表 3－1 のとおり土地の貸付を行う。

(表 3-1) 土 地 貸 付 等 状 況 一 覧

契約区分	平成 26 年 3 月現在		平成 27 年 1 月現在		備 考
	契約件数	貸付等面積	契約件数	貸付等面積	
有償契約	210 件	520,338 m ²	207 件	519,703 m ²	電力会社送電線敷地 41ha を含む。
無償契約	19 件	346,115 m ²	19 件	346,115 m ²	北海道、釧路市、森林管理署、アイヌ協会外
計	229 件	866,453 m ²	226 件	865,818 m ²	

4. 温泉事業

当財団が所有する源泉は、阿寒湖温泉のほぼ全域のホテル・旅館等に温泉を供給しており、その公益性が強く求められている。このため、源泉及び温泉供給設備の拡充と安定供給体制をより一層強化するため、施設整備の計画的な推進と、温泉需要者との情報交換を行う事業等を本年度も継続して行う。

(1) 前田一步園財団温泉推進連絡会議

温泉事業をより一層円滑に推進するため、地域の関係者や温泉利用者と情報交換を行う場を設ける。

事業費 30,000 円 (前年度予算 30,000 円)

(2) 温泉供給施設の整備

1) 湯湯ポンプの拡充事業

河田 2 号源泉用の予備水中ポンプ (11kw×1 台) 等を購入し、温泉の安定供給確保に努める。

事業費 2,750,000 円 (前年度予算 3,300,000 円)

2) 温泉計量器の交換整備事業

温泉計量器（流量計）を交換整備し、温泉供給量を把握することにより、温泉の安定供給と資源の節約に努める。

事業費 500,000円（前年度予算 1,080,000円）

3) 源泉ピット（井戸元）整備事業

掘削時施工した源泉ピット（井戸元）が経年劣化により、ひび割れや損壊が見受けられることから、正次7号源泉及び、15号源泉にて補修工事を行い源泉の保護に努める。

事業費 300,000円（前年度予算 600,000円）

4) 温泉供給施設の整備事業

今後、計画的に現在5源泉で使用している塩ビパイプ製ループ式のヘッダー（分配設備）を新たにステンレス製魚骨方式に変更していく。これにより、より適切な供給量の管理が容易になり、設備もコンパクト化し、耐久性も向上するため、設備のメンテナンスが容易になることから効率的な管理が可能となる。今年度については15号源泉で実施する。

事業費 4,200,000円（前年度予算 0円）

5) インバーター整備事業

新2号源泉インバーター補助計器盤のメンテナンスを実施し、温泉の安定供給に努める。

事業費 260,000円（前年度予算 0円）

6) 温泉管理事業

平成27年度中に、環境省が定めている成分分析の有効期間10年を超える源泉があるため、3源泉（チップ川源泉、新神社源泉、正次7号源泉）において温泉成分分析を実施する。

事業費 420,000円（前年度予算 0円）

(3) 源泉及び温泉供給設備の管理

平成27年1月現在の当財団所有源泉数は前年度から増減なく15本（内、稼働中12本、非常時用予備1本、観測井2本）である。前年度に引き続き、平成27年度においてもこれら源泉及び温泉供給設備の管理保全に努める。

(4) 温泉供給

前年度に引き続き、表4-1のとおり温泉供給を行う。

(表4-1) 温 泉 供 給 状 況 一 覧

供給区分	平成26年3月現在		平成27年1月現在		備 考
	契約件数	供給本数	契約件数	供給本数	
有償供給	67 件	312 本	66 件	311 本	
無償供給	3 件	4 本	3 件	4 本	北海道（阿寒湖畔診療所）等
自家用		3 本		3 本	暖房等財団諸施設
計	70 件	319 本	69 件	318 本	

5. その他

(1) ホームページ管理委託事業

平成26年度にリニューアルしたホームページの管理及び、更新等を専門業者に委託し行う。

事業費

120,000円（前年度予算 0円）

事業費については、実施事業等会計、その他会計、法人会計で配分し支出する。